

2024年度 入学試験

A日程

国語

解答について

- 1 受験番号はすでに印刷されています。自分の受験番号であることを確認し、出身中学、氏名を記入しなさい。
- 2 解答に当たっては、各問題について正しい解答を選び、その番号を該当する問題番号の解答欄にマークしなさい。

例えば 問二 C の正解が ④ の場合、解答欄に次のようにマークしなさい。

問題番号			解答欄									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
<input type="checkbox"/>	問二	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

もし、まちがってマークした場合には、プラスチック消しゴムで **あとが残らないように** 確実に消しなさい。

京都先端科学大学附属高等学校

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(作問の都合上、一部表記を改めた箇所があります。)

私たち人類が今のように農耕を行い定住し始めたのは1万年ほど前だと言われています。それまでの100万年ほどは、少人数のグループで移動しながら狩りや採集で食べ物を集める狩猟採集生活を送っていたと考えられています。1万年という時間は、長いようですが生物の体のつくりを変えるには短すぎます。したがって、私たちの身体や脳は未だ約100万年続いた狩猟採集生活に適応していると言われています。(ア)これが「私たちのからだには狩猟採集社会のところが詰まっている」と言われる理由です。

狩猟採集生活がどんなものだったかは、近年まで狩猟採集生活を送っていたナミビアのクン族などの研究からおおまかな様子がわかっています。狩りや採集や調理、育児を集団で協力して行っていたと想像されています。

(イ)多くの狩猟採集社会で共通しているのは「平等性」です。群れのメンバーは公平に扱われます。獲物を多くしとめたからといって、分け前が多くなるわけではありません。この平等性は群れのメンバーが安定して生き残るために合理的なしくみです。もし、獲物をしとめた人だけが食べ物にありつけるようにしたらどうなるでしょうか。元気なときはそれでいいでしょうが、ひとたび怪我や病気をしてみれば、その時点で食べ物が手に入らなくなって餓えてしまいます。怪我や病気はどんなに気を付けていても避けがたいことです。そんな社会ではとても安定的に子孫を残していくことはできないでしょう。狩猟採集社会の平等性は、集団のメンバーが安定して子孫を残す(つまり増えていく)ための重要なしくみです。

この平等性を維持するために、クン族は並々ならぬ努力をしています。なによりも大事なことは協力的で偉ぶらないことです。(ウ)クン族の逸話でこんな話があります。もし狩りに行って大きな獲物をしとめることができた場合、その人は決して大喜びで帰ってきたり、自ら手柄を宣伝するようなことはしません。普段と同じように帰ってきて、仲間のとこに加わります。自分からは言い出さず、仲間が狩りの成果を聞いてくれるまで待ちます。聞いてくれたとしても、「なんにも見つけられなかったよ……まあ I ならあつたかな」とできるだけ大したことではないふうを装いながら、自慢にならないように気を付けて成果を報告するそうです。

私たちの目から見ると、そこまで気を使わなくても……と思わなくはないですが、そうしてしまう気持ちはわかるのではないのでしょうか。A、偉ぶってしまったって嫌われてしまったら、次に自分が獲物を捕れなかったときには助けてもらえないかもしれません。そうなれば、自分も自分の家族もみんな餓えてしまいます。狩猟採集生活者にとって、仲間から嫌われないこと、仲間外れにされないことは生きていくうえで何よりも大切なことだったのでしよう。

人間は(エ)このような社会で100万年を過ごしてきました。B、人間の考え方も倫理観も未だこの狩猟採集生活に適応して

いると考えられています。みんなに協力的で、偉ぶらず、自慢しないのが尊ばれます。これは現代社会でも同じではないでしょうか。

C 本場に偉かったり自慢するだけの成果を残していたとしても、それを偉そうに自慢をする人は嫌われ、偉ぶらず謙遜している人の方が人格者として評価されます。それも私たちが狩猟採集生活の心を未だに有していることを示しているのかもしれない。

私たちがIIを重んじて、隣人と仲が良くないと悩むのはこの考え方の名残だとみなすことができます。いわば(オ)時代遅れの本能が残っているのです。

D 狩猟採集社会では仲間外れにされることは死活問題です。E、今やそうではありません。協力は社会制度の中に組み込まれています。(中略)

このような悩みを解決するには、学ぶことより他はないかと思えます。生物としての進化のスピードは社会の進化に比べて圧倒的に遅いので、進化に任せていては社会変化についていけません。一方で、人間の考え方は学ぶことで変えることができます。本能が求めることの理由を学べば、理性によって本能に逆らうことができます。(中略)

(カ)人間は学習によって本能を超えた行動ができる今のところ唯一の生物です。論理的に考えて役に立たない、意味のない悩みは捨ててしまうことが可能です。悩みというのは現実が本能にそぐわない状況で生じるものです。悩みの解決にはまずその悩みをもたらした生物的な由来を理解することです。その結果、現代社会を生きる上で悩む必要のない問題だと理性が判断するのであれば、そんな悩みは無視して、もっと自分が大事だと思うことに時間を使う方がいいですし、(キ)人間にはそれが可能です。

(市橋伯一『増えるものたちの進化生物学』)

問一 ——— (ア)「これ」の指示する内容として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 人類が定住し始めたのは1万年ほど前だということ。
- ② 人類は100万年ほど狩猟採集生活を送っていたこと。
- ③ 1万年という時間は長いようだが、一瞬であること。
- ④ 私たちの身体や脳が未だ狩猟採集社会に適応していること。
- ⑤ 狩りや採集や調理、育児などを集団で協力して行うこと。

問二 —— (イ)「多くの狩猟採集社会で共通しているのは『平等性』です」とありますが、なぜ狩猟採集社会では平等性が必要なのですか。その説明として、最も適当なものを①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 獲物を多くしとめたものだけが、分け前を独り占めしないため。
- ② 一人が獲物を独占することで、争いが起こらないようにするため。
- ③ 怪我や病気をした時に、食べ物が入らなくなり餓えてしまうため。
- ④ 集団のメンバーが安定して生き残り、安定的に子孫を残していくため。
- ⑤ 元気で狩りができる時だけ、集団のメンバーとしての存在を認めるため。

問三 —— (ウ)「クン族の逸話」を説明したものととして、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 大きな獲物をしとめても、自慢にならないように周りに気を使いながら成果を報告する。
- ② 大きな獲物をしとめたときは、大喜びで帰ってきて、自ら狩猟の成果を宣伝する。
- ③ 大きな獲物をしとめても、自分からは言わず聞かれてから自慢にならないように成果を報告する。
- ④ 大きな獲物をしとめたときは、普段と同じように帰ってきて、仲間に報告することはしない。
- ⑤ 大きな獲物をしとめても、何も見つけられなかったと嘘をつき、仲間にわからないようにする。

問四 Iに入る言葉として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ほんのちっぽけなもの
- ② 報告できないもの
- ③ 大きな獲物
- ④ みんなと分け合いたいもの
- ⑤ 大きな声で自慢したいもの

問五 —— (エ)「このような社会」とありますが、どのような社会ですか。最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 仲間に嫌われない、仲間外れにされないように周囲に気を使って生きる社会。
- ② 少人数のグループで移動しながら狩りや採集で食べ物を集める社会。
- ③ クン族のように獲物を捕まえても、自慢したりしない平等性を追求した社会。
- ④ 自分が大きな獲物を捕まえても、次に捕れなかったら助けてもらえない社会。
- ⑤ 獲物が捕れなかったら、自分も自分の家族もみんな餓えてしまう社会。

問六

A

 ～

E

 に入る言葉として、最も適当なものを次の①～⑤の中から選び、それぞれその番号をマークしなさい。

- ① たとえ
- ② したがって
- ③ しかし
- ④ たしかに
- ⑤ もし

問七

II

 に入る言葉として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 平等性
- ② 協調性
- ③ 積極性
- ④ 共通性
- ⑤ 理性

問八 —— (オ)「時代遅れの本能」とはどういうものですか。最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 狩猟採集社会の頃のように、周りの目を気にして生活しようとする警戒心。
- ② 狩猟採集社会の頃のように、周囲との関係が生死にかかわるかもしれないという恐怖。
- ③ 狩猟採集社会の頃のように、仲間との関係性が最も重要だとする気持ち。
- ④ 狩猟採集社会における、協力的で偉ぶらず自慢しない人間であろうとする向上心。
- ⑤ 狩猟採集社会における、獲物を捕らえた際の仲間への伝え方に対する配慮。

問九 ——— (カ)「人間は学習によって本能を超えた行動ができる」とありますが、その具体例として最も適当なものを、次の①～⑤

の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 赤信号を渡つてはいけないこと。
- ② バンジージャンプを飛ぶこと。
- ③ 施設が二足制になること。
- ④ 自転車を運転すること。
- ⑤ 苦手だった数学の問題が解けること。

問十 ——— (キ)「人間にはそれが可能です」とありますが、何が可能であるのかを説明したものととして、最も適当なものを次の①～

⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 論理的に考えて役に立たない、意味のない悩みを捨ててしまうこと。
- ② 悩みの解決に、その悩みをもたらした生物的な由来を理解すること。
- ③ その悩みが本当に悩む価値があることなのかどうかを吟味すること。
- ④ 現代社会を生きる上で悩む必要のない問題だと理性で判断すること。
- ⑤ 無駄な悩みは無視して、自分が大事だと思うことに時間を使うこと。

次の文章を読んで、後の間に答えなさい。(作問の都合上、一部表記を改めた箇所があります。)

聞き手の行動に着目して会話を観察してみてください。聞きや微笑み、相槌など、様々なシグナルを送ることによって、聞き手が話し手に(A)ケイゾク的に応答していることがわかるでしょう。これらのシグナルは、(イ)多層的な情報を伝えています。聞き手の様々な応答シグナルは、聞いていることを示すだけでなく、聞き手のアイデンティティ、主観や心的態度など「指標的な情報」を提示します。たとえば、「パーティの(B)シヨウタイ状に、出席者はスーツ着用して書いてあるんだけど、サウナスーツでいいのかな？」という発言に対して、聞き手が、「なんでやねん！」と応答した場合を考えてみましょう。ボケとツツコミについて理解している関西弁話者という聞き手のアイデンティティが読み取れます。また、「明日の会議でこの間話してた新しい企画について提案しようと思ってるの」という発言に対する「絶対(C)サイヨウ間違いないよ」という応答からは、聞き手は話し手とすでに提案内容を共有していることや、その提案に対して好意的であるという聞き手の心的態度が読み取れます。

加えて、聞き手の応答は、会話参加者がお互いに協力して会話の運営を管理する*ストラテジーに含まれます。そして、これらは対人関係機能面に関わるストラテジーでもあります。つまり、聞き手行動は「優しいコミュニケーション」につながっているのです。積極的な聞き手行動が、会話参加者間の対人関係にどのような影響を及ぼすかについて事例をまじえながら紹介します。

聞いているというシグナルや多層的な意味の提示を通して、聞き手が話し手に反応し、それにまた話し手が反応するといったような相互的な応答反応が発生することによって、話し手と聞き手双方による相互行為が達成されます。したがって、聞き手がコミュニケーションの中で果たす役割は絶大なものとしてとらえられるのです。このような立場から、社会言語学者の難波彩子は、会話の共同構築に向けた聞き手の在り方やコウ(D)ケンを指す「リスナーシップ」という(E)ガイネンを提案しています。コミュニケーションにおける聞き手の役割や、聞き手としての行動は、相互行為の構築には欠かせないということがわかります。

日本語会話で聞き手のもつ役割が顕著であることは、英語会話との対照研究を通して(ウ)多くの研究者から指摘されています。代表的なものを紹介しましょう。

言語学者のジョン・ハインズは、英語・日本語のコミュニケーションの成否に関して、「話し手責任」と「聞き手責任」という特徴をあげています。英語によるコミュニケーションでは、話し手の責任が重く、話し手は聞き手に誤解を与えないように言葉を尽くすことが期待される一方、日本語でのコミュニケーションでは、聞き手の責任が重く、話し手が自分の考えや意図を十分に言語化しなくても、聞

き手がそれを察することを期待できると指摘しています。

また、日本とアメリカのビジネスコミュニケーションを比較考察した社会言語学者のハル・ヤマダの研究でも、日本語のコミュニケーションの基本的な特徴の一つは聞き手重視であることを指摘し、「リスナートーク」という用語で特徴づけています。このような特徴は、曖昧さ、思いやり、和、ウチとソトの区別などを重んじる日本文化や、日本の社会的規範に由来し、日本語の日常会話では、相手の言いたいことを「察する」ことが求められるとされています。相手の言いたいことを「察する」ことは、日本語のコミュニケーションでは欠かせない、聞き手側の会話への積極的な参与を示す指標と言えるかもしれません。

日本語教育学者の水谷信子は、聞き手による頻繁な相槌の使用状況を観察し、聞き手が会話に積極的に関わりながら、話し手と一緒に会話を紡いでいく有り様を「共話」と名付けました。日常のコミュニケーションをふりかえってみると、様々なシーンで、参加者が共に会話を構築していく「共話」が行われていることに気づくでしょう。

会話への聞き手の積極的な参与は、多様なシグナル——言語及び非言語行動——を通して達成されます。相槌、終助詞や領きの使用、笑い、聞き手による問いかけ、反応表現や直前の発話の補完や完結を含むリアクティブ・トークン等、^(エ)日本語会話においては聞き手の行動が多様に、そしてダイナミックにちりばめられていることがうかがわれます。

(村田和代『優しいコミュニケーション——「思いやり」の言語学』)

注 ストラテジー……戦略。

問一 —— (ア)「シグナル」の本文中の意味として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 印象 ② 順序 ③ 合図 ④ 案内 ⑤ 管理

問二 —— (イ)「多層的な情報」の説明として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 会話の内容に対する理解について、聞き手によって様々な解釈があるため多くの情報を提供しなければならないこと。
- ② 聞き手の動作や表情などによって、会話を聞く姿勢だけでなく、その内容をどのように受け止めているのかを提示すること。
- ③ 傾きや微笑みによって、言葉として発しなくても聞き手が会話の内容について同意だけでなく親愛の情を示していること。
- ④ 会話の聞き手が頷いたり微笑んだり相槌を打つたりすることで、聞き手の現在の心理状態を相手に示していること。
- ⑤ 会話の聞き手が相槌を打つことで相手が話しやすいように促し、多くの情報が得られるように工夫していること。

問三 —— 「られる」の用法と同じものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 秋の気配が感じられる。
- ② 社長が乗られる車が到着しました。
- ③ 世間に名が知られる。
- ④ その子にはにんじんが食べられる。
- ⑤ 先生にほめられる。

問四 —— (ウ)「多くの研究者から指摘されています」とありますが、指摘されている内容として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 日本語会話では、聞き手が話し手と協力して会話を共同構築するため、コミュニケーションにおける聞き手の役割が重要となること。

- ② 日本語会話では、聞き手が会話に積極的に参加することが求められるが、聞き手の応答が会話において重要な役割を果たしていること。

- ③ 日本語会話では、話し手は聞き手に誤解を生じさせないように丁寧に話すことが求められるが、聞き手は会話にまったく関与しないこと。

- ④ 日本語会話は、話し手との対人関係も反映するため、聞き手の反応によって会話が円滑に進められるかどうかの方向性を示す役割を果たすこと。

- ⑤ 聞き手と話し手が互いを思いやる気持ちによって優しいコミュニケーションが成り立つため、聞き手の態度が重要な役割を果たしていること。

問五 ——— (エ)「日本語会話においては聞き手の行動が多様」を示す例として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 会話参加者のアイデンティティや心的態度。
- ② 相槌、終助詞の使用、笑いなどの多様な行動。
- ③ 話し手の意図を察した問いかけ。
- ④ 聞き手による話題の詳細な情報提示。
- ⑤ 話し手と同様に積極的な会話の構築。

問六 本文の内容に合致するものとして、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 日本語会話は、聞き手の発言の内容だけでなく、頷きや微笑み、相槌などの聞き手の態度から会話の受け止めを推し量らなければならぬ。
- ② アメリカのビジネスコミュニケーションでは、思いやりや曖昧さが通用しないため、話し手が自分の考えを十分に言語化しなければならない。
- ③ 英語会話では、話し手の責任が重いため、聞き手に誤解を与えないような表現にしようとして、回りくどく多くの言葉を使う場合がある。
- ④ 日本語会話も英語会話も、聞き手の心的態度次第でコミュニケーションが円滑にすすめるかどうかが決まる。
- ⑤ 日本語のコミュニケーションの特徴として「リスナートーク」と言われるように、聞き手が話し手の意図を察することが期待されている。

問七 ——— (A) (E) と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中から選び、その番号をマークしなさい。

(A) ケイゾク

- ① ケイロウの日。
- ② 身辺をケイゴする。
- ③ 公園でキュウケイする。
- ④ 伝統をケイシヨウする。
- ⑤ 日本文学にケイトウする。

(B) ショウタイ

- ① オリンピックをショウチする。
- ② ショウカク試験を受ける。
- ③ 知事のショウニンを得る。
- ④ 博士のショウゴウを授ける。
- ⑤ 詩をアンショウする。

(C) サイヨウ

- ① 難民をキュウサイする。
- ② 布をサイダンする。
- ③ サイサンの合わない計画。
- ④ 返事をサイソクする。
- ⑤ サイハテの地に立つ。

(D) コウケン

- ① キケンな坂道。
- ② ケンシ的な介護。
- ③ 日本国ケンポウ。
- ④ 人材をハケンする。
- ⑤ ケンジツな方法をとる。

(E) ガイネン

- ① ガイライ種の魚。
- ② ガイロジユを植える。
- ③ ガイチュウを駆除する。
- ④ カンガイ深い話。
- ⑤ ガイヨウを説明する。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

昔、元正天皇の御時、美濃の国に、貧しく賤しき男ありけるが、老いたる父を持ちたり。この男、山の木草を取りて、その値を得て、父を養ひけり。この父、朝夕、あながちに酒を愛し、ほしがる。これによりて、男、なりびさごといふものを腰につけて、酒を売る家に行きて、つねにこれをこひて、父を養ふ。ある時、山に入りて、薪を取らむとするに、苔深き石にすべりて、うつぶしにまるびたりけるに、酒の香しければ、思はずにあやしくて、(ア) そのあたりを見るに、石の中より水流れ出づることあり。その色、酒に似たり。くみてなむるに、めでたき酒なり。うれしくおぼえて、そののち、日々これをくみて、あくまで父を養ふ。

時に帝、(イ) このことを聞こしめして、霊龜三年九月に、そのところへ (ウ) 行幸ありて、御覧じけり。これすなはち、 (エ) 至孝のゆゑに、天神、地祇あはれみて、 (オ) その徳をあらはすと、感ぜさせ給ひて、のちに美濃守になされにけり。その酒の出づる所を養老の滝とぞ申す。かつ、これによりて、同十一月に年号を と改められける。

〔十訓抄〕

注 美濃の国……現在の岐阜県南部。 賤しき……身分が低い。 値……代価。 あながちに……むやみやたらに。 なりびさご……ひょうたん。

うつぶしに……うつぶせに。 あやしくて……不思議で。 あくまで……十分満足するまで。 至孝……この上ない孝行。

天神、地祇……天の神と地の神。 感ぜさせ給ひて……感心なさせて。 美濃守……美濃の国を治める長官。 国司。

問一 ———— (ア) 「そのあたり」とはどこを指しますか。最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 薪を取るために入った山の所。
- ② 苔がびっしりと付いた石の所。
- ③ うつぶせに転んだ地面の所。
- ④ 酒の匂いのする所。
- ⑤ 石の中から水が流れてくる所。

問二

——(イ)「このこと」を説明したものととして、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

① 美濃の国の親孝行な息子が、酒好きの父親のために山の中で酒の源泉を探し続けた結果、岩からわき出しているのを見つけたこと。

② 美濃の国の貧しい男が、自分の父親が酒を欲しがるため、その代金が払えず山中をさまよっていたとき、酒の源泉を偶然見つけたこと。

③ 美濃の国の貧しい男が、父のために毎日働いて酒を買っていたが、偶然石から酒がわき出しているのを見つけ、毎日父に飲ませたこと。

④ 美濃の国の親孝行な息子が、父が酒を欲しがるので酒屋に頼んで酒をもらいつつ、その一方で山のわき水で酒を増やしていたこと。

⑤ 美濃の国の男が父のために働く一方で、酒好きの父のために酒を工面していたが、山の中で転んだ際、偶然酒がわく所を見つけたこと。

問三

——(ウ)「行幸」・——(エ)「至孝のゆゑ」を現代仮名遣いに直したとき、正しい組み合わせを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ぎようかう・しこうのゆい ② ぎやうこう・しこうのゆえ ③ ぎようこう・しこうのゆえ
- ④ ぎやうかう・しかうのゆい ⑤ ぎようこう・しこうのゆえ

問四

——(オ)「その徳をあらはす」とは「神がその恩恵を施す」という意味ですが、どのような恩恵を男に与えたのですか。最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

① 貧しく金がないため酒を買えない男に、酒のわく場所を教えたこと。

② 酒好きの父に毎日酒を飲ませてやれるように、男に酒の源泉を与えたこと。

③ 貧しい男の親孝行な態度を認め、美濃守にするなど、出世させたこと。

④ 親孝行な男の話が、天皇の耳に入るように、酒好きの人々に語らせたこと。

⑤ 親孝行な男が裕福になれるように、天皇に現地を視察するよう忠告したこと。

問五 本文の に入る言葉として、最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 美濃 ② 至孝 ③ 天神 ④ 地祇 ⑤ 養老

問六 本文中に係助詞はいくつありますか。次の①～⑤の中から一つを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 0個 ② 1個 ③ 2個 ④ 3個 ⑤ 4個

問七 本文は『十訓抄』からの引用です。『十訓抄』は年少者への教訓を十の徳目に分け、各徳目に例としての説話を集めたものです。

本文の話はどの徳目に入りますか。最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 可^{ベキ}施^スニ人^ニ恵^ラニ事 ② 可^キ撰^ニ撰^ニ朋友^ニ事 ③ 可^キ存^ニ忠^ニ直^ニ事
④ 可^キ専^ニ専^ニ思^ニ慮^ニ事 ⑤ 可^キ停^ニ停^ニ懇^ニ望^ニ事

問題は以上です

2024年度 A日程 国語

受験番号

マーク例

良い例

悪い例

問題番号		解 答 欄										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
4点 ×5	問一	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問二	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問三	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問四	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問五	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
一	問六	A	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		B	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		C	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		D	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		E	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
4点 ×3	問七	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問八	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問九	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	問十	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

問題番号		解 答 欄											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		
二	4点 ×3	問一	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		問二	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		問三	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
	2点 ×5	問四	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		問五	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		問七	A	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			B	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
C	①		②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
D	①		●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
E	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			

問題番号		解 答 欄									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
三	問一	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問二	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問三	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問四	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問五	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問六	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	問七	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

出身 中学校	氏名